

SUS、「2019 国際ロボット展」に出展

改善活動を後押しする新サービスや、搬送の効率化に効く自動化ラインをご提案

FA 向けアルミ製機器製品、および機械装置の設計開発、製造、販売会社である SUS 株式会社（本社：静岡県静岡市 代表取締役社長：石田保夫 www.sus.co.jp 以下、SUS）は 2019 年 12 月 18 日（水）～21 日（土）に、東京ビッグサイト（東京都江東区有明）で開催される、世界最大規模のロボット専門展「2019 国際ロボット展」に出展します（SUS ブース：西 1F ホール W1-02）。

今回のテーマは「アルミを進化させる SUS」。その軸の 1 つが、作図から切断、ケガキ、組立、配送まで、アルミフレームの活用に欠かせない工程を請け負い、現場改善にかかるお客さまの負担を軽減する SUS の“サービス体制”です。会場では今後開始を予定している「ケガキサービス」用に自社で開発した自動化設備などをご紹介しながら、サービスを活用した改善の促進・工数の削減をご提案します。さらに、もう 1 つの軸が、多様な製品の活用による SUS の“トータルソリューション”です。展示品の目玉は、多関節、パラレルリンクという 2 種類のロボットと電動からくりを組み合わせた自動化ライン。高剛性アルミ構造材 ZF を用いたロボット架台や、アルミパイプ構造材 GF シリーズと手軽に使える電動パーツを組み合わせ、簡単プログラミングの入出力制御装置 SiO コントローラで制御を行う省スペースなワーク搬送例をご覧ください。



▲ブースイメージ

SUS は人手不足や生産現場の環境改善など、製造業の現場が抱える課題を、簡単に解決できるアイデアとソリューションを皆さまに提供していくことで、日本の製造業に貢献してまいります。

【本件に関するお問い合わせ】

SUS東京広報センター（アズ・ワールドコム ジャパン内） 担当：水谷、中里、平川

電話：03-5575-3228 SUS株式会社 広報担当：関口 / 電話：03-5652-2395

<参考資料>

■ 2019 国際ロボット展 出展概要

会 期 : 2019 年 12 月 18 日(水)～21 日(土)

会 場 : 東京ビッグサイト

SUS ブース: 西 1F ホール W1-02

<展示内容 一例>

(1) 自社開発の自動化設備

アルミフレーム切断機

ケガキ装置(実際にケガキをしたサンプルもご用意)

(2) ロボットと GF 電動パーツの組み合わせによる自動化ライン

(3) 高剛性アルミ構造材 ZF 製ロボット架台

搭載ロボット: パラレルリンク・多関節・スカラ

(4) GF ミニチュアからくり

■ SUS(エスユウエス)株式会社 概要

本 社: 静岡県静岡市駿河区南町 14-25 エスパティオ 6F

設 立: 1992 年 6 月 19 日

資 本 金: 2 億 9,000 万円

売 上 高: 263 億 5,300 万円 (2019 年 2 月期連結売上 単体では 227 億 5,800 万円)

従業員数: 877 名 (2019 年 12 月 1 日現在)

事業内容: FA 向け機械装置およびユニット機器製品の設計開発・製造・販売。

アルミ製住宅および建築用アルミ構造材の設計開発、製造販売。

アルミ製家具およびアルミ建材の製造販売。